

国際規格の動向—国際会議に出席して—

8～11月の国際会議も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全てWeb開催であった。当社に関する審議について報告する。

ISO/TC61（プラスチック） /SC6（耐候性）

*喜多英雄

開催日：2021年8月24日、9月7日～9日

参加国：アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・チェコ・スイス・

イタリア・ロシア・インド・韓国・日本

(8月24日)5か国11名、(9月7日)9ヶ国31名、

(8日)8ヶ国26名、(9日)9ヶ国14名

【WG2(光暴露)】(9月7日～8日)

(1) ISO 4892-1:2013(通則)

コメントを議論した。修正案の同意後、CD 投票を行う。コメントが少なければ直接 DIS に進める。11月5日、12日に Adhoc 会議を開き、コメントを議論した。

(2) ISO 4892-2:2013(キセノンアーク試験)/Amd 1:2021

デライトフィルターの各波長域の相対放射照度値について追補として検討され、数点のコメントが出て修正され、発行になった。

(3) ISO 4892-3:2016(紫外線蛍光灯試験)

ドイツから従来の紫外線蛍光灯試験機とは構造が異なる、恒温槽内に光源を配置する試験方法の提案があった。

(4) 着色プラスチックの LED による耐光性試験

喜多より LED 試験の結果を報告、LED 光源下の室内をシミュレートした限定試験を提案し、議論した。NP 投票に進めることになった。

【WG3(諸暴露)】(8月24日)

(1) ISO 19721(人工芝の耐候性試験+摩耗試験)

韓国より新しいデータの説明があり、ブラックパネル温度条件等を議論した。

【SC6(耐候性)】(9月9日)

WG2、WG3の内容が報告された。

次回は、2022年10月3日～7日にスウェーデン・ストックホルムで開催予定。

ISO/TC107（金属及び無機質皮膜）

須賀茂雄

開催日：2021年9月15日

参加国：ドイツ・フィンランド・スペイン・イラン・中国・韓国・

日本 7ヶ国51名

SC7(腐食試験)は議長を伊藤勲氏、国際幹事を須賀が務めており、伊藤議長より SC7 の審議状況について報告があった。

(1) ISO/DIS 24284(凍結防止塩環境下の腐食試験)：韓国提案

DIS 投票の結果、FDIS へ進めることになった。

(2) 伊藤勲氏は SC7 議長を3年延長し務めることとなった。

次回は、対面形式が可能なら2022年10月に中国・馬鞍山市にて開催予定。

ISO/TC45（ゴム及びゴム製品）

**金原英司

開催日：2021年10月6日、18日～19日

参加国：アメリカ・イギリス・ドイツ・オランダ・スウェーデン・

チェコ・インド・マレーシア・タイ・中国・日本

(10月6日)7ヶ国21名、(18日～19日)11ヶ国27名

【SC4(製品(ホースを除く))/WG13(引布)】

(1) ISO 6452(フォギング試験)

ドイツよりアルミブロックによる新加熱方法の新規提案の方法について確認があった。

【SC2(試験及び分析)WG3(物理試験)】

(1) ISO1431-1(オゾン劣化試験)

オゾン劣化試験結果の改善について、日本から試験片端面の保護によるばらつき低減のプレゼンテーションを行った。試験片端面の保護について改正を進める。

(2) ISO 188(熱老化試験)

高空気置換回数のドイツ提案で、2nd WD 投票のコメントについて審議され、DISに進めることになった。

次回は、対面形式が可能なら 2022 年にインドで開催予定。

ISO/TC38 (繊維) /SC1 (染色堅ろう度)

*喜多英雄

開催日: 2021 年 10 月 11 日

参加国: アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・南アフリカ・中国・韓国・日本 8ヶ国 37 名

当社に関連する WG1(耐光)について報告する。

(1) ISO 105-B04(キセノン耐光性試験)

フィルターの条件などを ISO 4892 などと同様に規定し直すと報告があった。改正を準備中。

次回開催は未定。

ISO/TC42 (写真/画像) /WG5 (写真/画像の保存性)

*喜多英雄

開催日: 2021 年 11 月 16 日

参加国: アメリカ・イギリス・ドイツ・スイス・ベルギー・オランダ・日本 7ヶ国 18 名

(1) ISO/CD 18937(イメージング材料-現像済み写真

印画紙-屋内光の安定性の測定方法) edition 3

Part 3(LED):PL 須賀茂雄

分光分布表について説明があり、青色励起と紫励起を定義し、波長などを議論した。CD 案を回送し、CD 投票を開始する。

(2) ISO/PWI 18940(イメージング材料 屋内安定性の仕様)

Part 1(試験方法)

様々な対立点があり、今後審議を重ねる。

次回は、Web とのハイブリッド開催で、2022 年 6 月に岡山にて開催予定。

IEC/TC110 (電子ディスプレイ) /WG14 (電子ディスプレイの耐久性試験方法)

*喜多英雄

開催日: 2021 年 8 月 25 日、10 月 26 日

参加国: アメリカ・ブラジル・中国・韓国・日本

(8 月 25 日)2ヶ国 7 名、(10 月 26 日)5ヶ国 26 名

(1) PWI 110-58 Environmental tests-Outdoor weathering

屋外設置されるディスプレイ機器の耐候性試験の規格開発で、PL の喜多より Scope の原案を示し、議論を行った。

次回は 2022 年 2 月に開催予定。

<ISO 規格発行までの手順>

PWI	Preliminary Work Item (Project)	予備段階
NP	New Proposal for a work item	提案段階
AWI	Approved Work Item	提案承認段階
WD	Working Draft	作成段階
CD	Committee Draft	委員会段階
DIS*	Draft International Standard	照会段階
FDIS	Final Draft International Standard	承認段階
IS	International Standard	発行段階

※IEC では CDV : Committee Draft for Vote

PL	Project Leader	プロジェクトリーダー
Amd	Amendment	追補

* 校正部 部長

**日高・川越工場 開発部 プロジェクト D 課長

規格ニュース

新規に発行された ISO 規格・IEC 規格・JIS 規格をご紹介します。

ISO 4892-2: 2013 / AMD 1:2021 Plastics — Methods of exposure to laboratory light sources — Part 2: Xenon-arc lamps — Amendment 1: Classification of daylight filters 改正発行

相対分光放射照度表を記載した Annex が追加され、デライトフィルター越しのキセノンランプの種類が細分化された。

ISO 3011:2021 Rubber- or plastics-coated fabrics — Determination of resistance to ozone cracking under static conditions 改正発行

従来は湿度に関する規定が無かったが、今回の改正で ISO 1431-1:2012 の湿度条件(65%rh 以下、80～90%rh)が追加された。

ISO 18947-1:2021 Imaging materials and prints — Abrasion resistance — Part 1: General rub testing methods 発行

ISO 18947 は画像の摩擦試験で、学振摩擦試験(ISO 105-X19)や往復平面摩耗試験(ISO 7784-3)が規定されており、今回の改正により Part 制となり、Part 1 の通則が発行された。

IEC 60747-5-13:2021 Semiconductor devices - Part 5-13: Optoelectronic devices - Hydrogen sulphide corrosion test for LED packages 発行

LED パッケージの硫化腐食試験を規定した規格が新たに発行された。本規格は日本提案によるもので、JEITA(一般社団法人電子情報技術産業協会)規格の JEITA ED-4912A(2018 年 3 月改正)に規定の硫化腐食試験に基づいている。《詳しくは、次頁参照》

JIS A 1501:2021 樹脂製建具のメタルハライドランプによる促進耐候性試験方法 発行

PVC 製建具(塩ビの窓枠)を試験対象として新たに発行された(事務局:塩ビ工業・環境協会)。当社のメタリングウェザーメーターM6T 型で試験可能である。